

25年度 授業改善推進プラン【生活科】

谷戸第二小学校

1 日常の学習における課題分析

<関心・意欲・態度>

自分から進んで物事に関わろうとしたり、活動を楽しんだりする児童が多いが、栽培活動や飼育活動等において最後まで意欲が続かなかったり、受け身な態度で関わったりする児童もいる。

<思考・表現>

「調べる」「育てる」「作る」等の活動で、自分なりに考えたり工夫したり、振り返ったりできている。しかし、自分の考えをどのように表現したらよいかわからない児童や、自分の考えだけで完結させる児童もいる。

<気付き>

具体的な活動や体験によって、学校・地域などから様々なことを感じ取っているが、それらと自分とのかかわりや自分自身の良さに気付いていない児童もいる。



2 授業改善の方策

<関心・意欲・態度>

- ・子供たちが興味関心をもって取り組めるよう、どのような体験や活動が適切であるかを吟味する。地域の施設や自然等、身近にある豊富な学習教材を積極的に開発し、多様な活動を行えるように工夫する。
- ・教師が子どもの活動に興味関心をもち、取り組みを**認めたり**、新たな活動につながる**情報を発信したり**していく。また、授業や帰りの会などで、友達の取り組みや気付きの良さを紹介し合うことで、学習意欲を高めていく。
- ・**対象とじっくり、繰り返しかかわれる時間を確保**する。
- ・**自然の不思議さや面白さを実感する学習活動をたっぷり体験**することで、中学年以降の、科学的な見方・考え方の基礎を養う。
- ・他教科と関連した単元を構成したり、家庭との連携も図って学習したことを体験させたりして、児童の興味・関心が持続できるようにする。

<思考・表現>

- ・具体的に活動や体験したことを、その場限りのもので終わらせないように振り返りを行い、自分なりに整理したり、そこで気付きなどを友達と伝え合ったりする活動を充実させる。その際に、活動や体験したことを**言葉や絵、動作化や劇化などで表す表現活動を重視**する。
- ・植物や動物になりきって多様な思考・表現できるように、振り返りシートや観察カードを工夫する。
- ・**イメージを活動に具体化する手立てとして、積極的にウェビングによる手法を取り入れていく。**

<気付き>

- ・子どもの気付きを広げ深めるために、「見つける」「比べる」「たとえる」などの具体的な視点を与えて、多様な学習活動を積極的に取り入れる。
- ・継続的、または長期にわたる飼育・栽培を行うことで、成長や変化、生命の尊さや育て方等、様々なことに気付き、親身になって世話できるようにする。そして、「責任感」「忍耐力」「思いやり」「優しさ」などを育み、**「自分自身への気付き」まで獲得できるようにする。**

<その他>

- ・活動の際には担任以外の先生や地域・保護者のボランティアなど、安全に活動できる人的確保を行う。

